

開会あいさつ

姫路市長 石見利勝



皆さん、こんにちは。「2012姫路市都市景観フォーラム」を開催するに当たりまして、主催者を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本日はたくさんの皆様にご出席をいただきましてありがとうございます。

この景観、景色、これらは非常に難しいものでありまして、いつとき景観工学というのがはやったんですけど、工学とするからにはやはり計量する、そしてその美しいものを再現していくということの狙いがあったと思うんです。けれども、どうも景色というのは高さや長さやはかれない。どういう形で美しい景観を構成していくか、これはお華の世界であるとか、絵描きさんの世界、写真家、いろいろな芸術家が美しいものをいろいろ評価し、再現してこられたわけですけど、そこに何らかのみんなが美しいと思うものがある、これは間違いない。そういうものをみんなで大事にして町をきれいにしていこうということで、みんなが美しいと思うものをこれからどんどんふやしていこう。建物、公園、都市を構成するいろいろな景観要素に対して、美しいと思うものを表彰させていただいて、そしてみんなで美しい町を実現していこうというのがこの狙いでありまして。

ヨーロッパの町のいろんなところに行ってきれいなと思うんですね、どうも、日本は負けとるん違うかなと思うことが非常に多い。ところがよく考えてみると、半分以上、あれは珍しい、我々が見たことない景色だからいいなと思う。だから外国人は姫路へ来ると、えらい美しいと言うんですよ。我々、見なれているということがあるんですね。ただ一方でやっぱり流れがあったり、木々が生い茂ってたり、それから歴史的に長い年月の評価を耐えて残ったものに美しいものが多いというのも事実です。きょうご出席の皆様はそういうことに関心のおありの皆さんでございますので、ぜひ姫路を、これまでもいろいろ皆さんご努力いただいておりますけども、駅も整備され、お城もこれからきれいになりますし、黒田官兵衛も大河ドラマになりますので、たくさんの方が姫路にも来られると思います。この際、みんなと一緒に美しい町を実現していくということでご協力お願いしたいと思えます。

きょうはこの美しい建築物、物的な環境をつくっていただいた皆さんを表彰させていただきます。

また、この後、大阪ガスの篠原さんからご講演をいただくことになってます。この機会に皆さんともう一度、価値を共有しながら、姫路の町を美しくしてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。